



魅力ある 大学生にも インタビュー

明日へ ジャンプ

特別編 No.191

自分の強みを生かし、
多くの人を支えていきたい

東京福祉大学 社会福祉学部 3年 ^{かすが}春日 ^{としのぶ}駿伸 さん

春日さんは、さまざまな理由で日常生活を円滑に送ることが困難な人を支援する社会福祉士を目指しています。そんな春日さんにこの職業を目指したきっかけを聞きました。「高校生の時、進路指導の先生に誰にでも優しく受け答えができることから、適性があると勧められました。自分でも調べてみると、人の役に立つやりがいいのある職業だと思い目指すことにしました」

自分の長所を生かし、日常生活で問題を抱える人を支援したいと思うようになった春日さん。福祉に関する知識や技術を学ぶ授業では、心がけていることがあるそうです。「社会福祉士に大切な聞き手としての力を身につけるため、グループワークの授業では、毎回進んでまとめ役を引き受けています。また、大人数で受ける国家試験対策授業では、常に最前列に座り疑問はすぐ先生に確認するよう心がけています」

夢の実現のため積極的に日々の勉強に励む春日さんは、将来を見据えボランティア団体でも活動しています。「障害のある子どもや、学校



プロフィール

かすが・としのぶ
体を動かすことが好きで、社会福祉士の資格取得に励む傍ら、バレーボールサークルの主力としても活躍している。現在は10月に行われる群馬県私立大学スポーツ大会での優勝を目指し、日々練習に励んでいる。

以外に居場所が欲しい子どもを集め、一緒に工作やダンスなどを行っています。社会福祉士は子どもと触れ合う機会も多いため、現場を知ることができ、とても有意義な時間を過ごしています」

ボランティア団体での活動を通じて社会福祉士への思いがより一層強くなったという春日さんに、将来思い描く姿を聞きました。

「社会福祉士の資格を取得し、卒業後は障害者や高齢者などさまざまな人を支援できる公務員になりたいと思っています。相談者の状況に応じた的確な支援を行い、地域の人や他の職員に信頼される社会福祉士を目指したいです」